

# もどり車

「もどり車」は、「ゴムの力で動くおもちゃ」です。転がすと中のゴムがねじれ、それが戻ろうとする力によって、途中で転がる向きを変えて手元に帰ってきます。この原型は、熊本大学教育学部附属小学校の原口淳一先生が、※「楽しい理科授業2010年1月号」に紹介していたもどり車です。そのもどり車をもとに、作業しやすいようにタイヤにする厚紙をCDに替えて紹介するものです。

※連載10 授業が変わるものづくりのヒント「もどり車」  
熊本大学教育学部附属小学校の原口淳一著  
明治図書出版株式会社 楽しい理科授業2010年1月号

## 1 準備

- ・ CD 2枚
- ・ プラスチックコップ 1個（穴あき）
- ・ 中心に穴のあいた工作用紙 2枚
- ・ 輪ゴム
- ・ おもり（ナット） 1個
- ・ つまようじ 2本
- ・ ゼムクリップ（図2の形にする）
- ・ はさみ
- ・ セロテープ



図 1

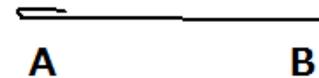
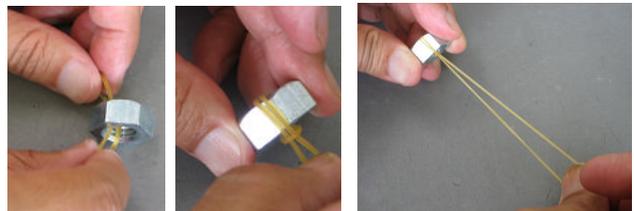


図 2

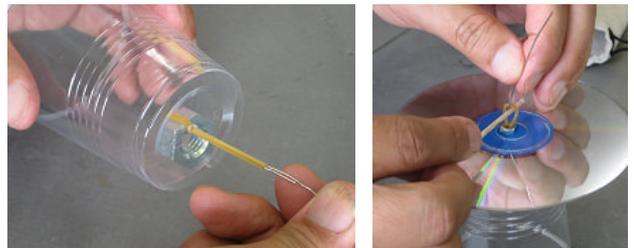
## 2 作り方

① 厚紙(5cm×5cm)をCDの表側にセロテープではりつける。厚紙がCDからはみ出るようなら、厚紙のはみ出そうなところをはさみで切りおとしておく。また、厚紙の穴は、CDの穴の中心にくるようにする。

② ナットに輪ゴムをとおす



③ 図2のはりがねAに輪ゴムを引っ掛け、Bのほうからはりがねをプラスチックカップの穴に通し、さらにCDディスクの穴をくぐらせたあと、輪ゴムをぬけないように、つまようじでとめる。



④ もう一方もCDディスクの穴をくぐらせたあと、ぬけないように、つまようじで輪ゴムをとめる。

## 4 あそび方と留意点

普通に床をころがすと、しばらくしたらもどってくる。そのときのディスクのバランスをみて、位置を修正してから工作用紙とディスクをセロテープでとめて固定するとよい。

